

# 高知県の新型コロナウイルス感染症の対応目安

判断指標		県の状況（12月2日現在）	
		対判断指標	総合判断
①全療養者数	特別警戒（赤）：105人以上 非常事態（紫）：175人以上	18人	警戒
②最大確保病床の占有率 （200床）	感染観察（緑）：10%未満 注意（黄）：10%未満 警戒（オレンジ）：10%以上 特別警戒（赤）：20%以上 非常事態（紫）：50%以上	9.0% (18/200)	
③直近7日間の新規 感染者数	感染観察（緑）：0～3人 注意（黄）：4人以上 警戒（オレンジ）：14人以上 特別警戒（赤）：105人以上 非常事態（紫）：175人以上	11/26～12/2 全数:16人 (うち感染経路不明数:9人)	
④直近1週間と先週1週間の 新規感染者数の比較	特別警戒（赤） ：直近1週間が先週1週間より多い 非常事態（紫） ：直近1週間が先週1週間より多い	11/19～11/25：5人 11/26～12/2：16人	
⑤感染経路不明割合 （直近7日間）	特別警戒（赤）：50% 非常事態（紫）：50%	11/26～12/2:56% (9/16)	
⑥PCR陽性率 （直近7日間）	特別警戒（赤）：10% 非常事態（紫）：10%	(県衛生環境研究所での検査) 11/26～12/2 17.9% (12/67)	



# 高知県における新型コロナウイルス感染症対応の目安 (令和2年12月2日時点)

判断指標 ※1	ステージ	感染観察（緑）	注意（黄）	警戒（オレンジ）	特別警戒（赤）	非常事態（紫）		
	直近7日間の新規感染者数	0～3人	4人以上	14人以上	105人以上	175人以上		
	最大確保病床の占有率	10%未満		10%以上	20%以上	50%以上		
対応方針	共通事項	□ 「新しい生活様式」等の実践 （例）・身体的距離（1～2m）の確保 ・咳エチケット ・食事は大皿は避けて料理は個々に ・テレワークやローテーション勤務 □ 各店舗における適切な感染対策の徹底					・マスクの着用 ・公共交通機関では会話は控えめに ・大声での会話や「献杯・返杯」は避けて ・オンライン会議の推奨	・手洗いや手指消毒
	国の分科会のステージ区分	I 散発的発生		II 漸増	III 急増	IV 爆発的拡大		
	外出	「3密」の徹底回避		ガイドラインが遵守されていない酒類を提供する飲食店への外出自粛の検討・実施	夜間や酒類を提供する飲食店への外出自粛の検討・実施	昼夜を問わない不要不急の外出自粛の検討・実施		
	休業等の要請	—	—	—	一定の業種 ※2 の休業、営業時間短縮の要請の検討・実施			
	会食	(共通事項に留意)		可能な範囲で規模縮小・時間短縮を	小規模グループかつ短時間で	家族以外での会食を控える		
	イベント等	(国の基本的対処方針、ガイドライン等に基づき対応)			開催・参加の再検討	開催・参加自粛		
	県立学校	各福祉保健所管内の感染状況等を踏まえて判断 ※3						
	県立施設	開館			屋内施設の休館を検討	休館		
	他県との往来	全国の感染状況と感染拡大のリスク等を踏まえて判断						

※1 判断指標については、①全療養者数（特別警戒：105人以上）、②最大確保病床の占有率、③直近7日間の新規感染者数、④直近1週間と先週1週間の新規感染者数の比較、⑤感染経路不明割合（特別警戒：50%）、⑥PCR陽性率（特別警戒：10%以上）の6つの指標をもとにして、ステージを総合的に判断する。また、患者の発生が一部の地域に限定される場合は、当該地域のみを「注意」「警戒」とするなど、地域の実情に応じて柔軟に判断することがある。

※2 休業等を要請する「一定の業種」については、県内の感染事例や国の基本的対処方針等を考慮して決定するものとする。

※3 県立学校については、文部科学省の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」に基づき、福祉保健所管内の感染状況等を踏まえた県教育委員会独自の基準に基づき、休業等を判断するものとする。